

「第7期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画」  
パブリックコメントの結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 平成29年12月1日（金）～平成30年1月4日（木）  
 (2) 意見の件数 66件（3人）  
 (3) 提出方法の内訳 持参62件、郵送3件、ファックス1件

2 内容別の意見の件数

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 第1章 計画の基本的な考え方         | 2件  |
| 第2章 刈谷市の高齢者を取り巻く現状と課題  | 8件  |
| 第3章 計画の基本理念・基本目標       | 0件  |
| 第4章 第7期計画における重点目標と重点施策 | 18件 |
| 第5章 施策の展開              | 38件 |

3 意見の概要と市の考え方

□第1章 計画の基本的な考え方

| No. | ページ | 意見の概要  | 市の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 1   | 1   | 「地域主体の介護予防・支えあい体制づくり」、「より多様な主体の参画を促す」とあるが、視点が住民、多様に焦点化しており、推進主体が市であることが曖昧になっている。 | 地域包括ケアシステムの構築は市が主体となって取り組むものですが、行政のみで達成できるものではなく、互助の体制づくりを推進していきたいと考えています。 |
| 2   | 3   | 自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の発揮を望む。   | データに基づく課題分析と対応、適切な指標による実績評価に取り組むことで、自立支援・重度化防止に向けた保険者機能を発揮していきたいと考えています。   |

□第2章 刈谷市の高齢者を取り巻く現状と課題

| No. | ページ      | 意見の概要   | 市の考え方   |
|-----|----------|---|---|
| 3   | 19<br>20 | 見守り体制の充実を検討していくのであれば、緊急通報装置の高齢者夫婦のみ世帯や高齢者と障害者のみ世帯等への対象拡大、配食サービスの開始の迅速化、調整食の内容充実など実情にあわせたサービス提供の強弱を検討すべきではないか。                                   | これらの事業は、目的や内容を踏まえ、対象者等を決めています。<br><br>いただいたご意見につきましては、各種事業を推進していく際に参考にさせていただきます。                                |
| 4   | 21<br>22 | 高齢者タクシー券、介護支援ベッドについて、福祉サービスの利用のために介護認定をするのではなく、福祉サービスとして独自の対象要件を検討するなど再考が必要ではないか。介護サービスの利用を希望されない対象者が介護認定申請を行わないことで、介護認定の結果が遅延することも解消できるのではないか。 | 高齢者タクシー券は電車・バス等を利用することが困難な方、介護支援ベッドは離床動作が困難な方への福祉施策であり、外出が困難、離床動作が困難であると判断するに当たっての合理的かつ客観的な基準として要介護認定を要件としています。 |
| 5   | 22       | 介護保険の住宅改修と高齢者住宅バリアフリー化工事について、介護保険の申請後、申請ができるようにしておき、結果で事業を振り分けることが必要ではないか。  | 介護保険の住宅改修と高齢者住宅バリアフリー化工事は、その趣旨と対象者が異なるため、いずれか一方の申請を選んでいただいています。   |
| 6   | 24       | 潜在的な支援の担い手の発掘・育成をどのようにしていくのか具体的に計画されていない。   | 高齢者が地域で行う介護予防活動を応援する地域支えあい協力者を募集することで、支援の担い手を発掘するとともに、育成を図っています。  |
| 7   | 25       | 高齢者の趣味・生きがいづくりの場をどのように充実させていくのか具体的に計画されていない。  | 老人クラブ、老人いこいの場など、高齢者の地域での活動や交流の場づくりを支援することにより、高齢者の趣味・生きがいづくりの場を充実させたいと考えています。                                    |

| No. | ページ | 意見の概要   | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 8   | 26  | <p>どのように認知症サポーターの認知度を上げ、支援の輪を広げるのか、認知症介護する家族の心身の負担をどのように軽減するのか具体的に記載されていない。</p>   | <p>各種地域活動団体や小中学校等と連携して養成講座を開催することで、認知症サポーターの認知度を上げ、支援の輪を広げたいと考えています。</p> <p>また、認知症カフェの拡充や認知症家族支援プログラム等を開催することで、認知症の人を介護する家族の負担を軽減する取り組みを充実したいと考えています。</p> |
| 9   | 28  | <p>介護保険サービスについて、充実させるサービス、新規導入のサービスは具体的に何か。</p>   | <p>充実させるサービスとして、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の整備を図り、新たに定期巡回・随時対応型訪問介護看護の導入を目指します。</p>  |
| 10  | 30  | <p>ひとり暮らし高齢者への見守りや軽度な生活支援など、元気な高齢者を含めた担い手づくりを考える上で、第3次地域福祉計画においても見守り体制の充実について、市と社協が体制づくりを検討しますとなっているが、検討はどのくらい進んでいるのか。地域福祉計画との協働は？</p> <p>また、介護予防ポイント事業の拡充をすることで、担い手の確保につながる可能性を感じるため、具体的に実施、検討する時期ではないか。</p> | <p>身近な地域での支え合いを推進するため、市と社会福祉協議会で連携して、地区社会福祉協議会の設立を進めており、地域のつながりの再構築を図っています。</p> <p>また、介護予防ポイント事業については、ポイント付与の対象となる活動の拡大に向け検討していきたいと考えています。</p>            |

□第4章 第7期計画における重点目標と重点施策

| No. | ページ | 意見の概要  | 市の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| 1 1 | 3 8 | I C Tを活用した情報共有システムについて、医療・介護の提供側・利用者側双方の利用促進をどのように進めていくのか。   | 医療・介護関係者向けの研修や医療機関等への普及啓発リーフレットの配布など情報発信を行うことで、利用を促進したいと考えています。   |
| 1 2 | 3 9 | 2 4時間対応できる訪問サービスは医療と介護の切れ目ないサービス提供に不可欠ではないか。   | 医療的ケアが必要な高齢者の在宅生活を支援するために、新たに2 4時間対応のサービスである定期巡回・随時対応型訪問介護看護の導入を目指します。  |
| 1 3 | 4 1 | 認知症ケアパスは認知症地域支援推進員の活動や初期集中支援チームのすることも明確にするため、再策定が必要である。<br>また、認知症ケアパスの広報、啓発についても検討していく必要があるのではないか。 | 認知症ケアパスの内容については、必要に応じ見直しを行いたいと考えています。<br>また、認知症ケアパスについては、市役所や地域包括支援センター、介護事業所等に設置し、広報、啓発を図っています。                        |
| 1 4 | 4 2 | 認知症サポーターと徘徊高齢者、行方不明者探索の支援を一体的に実施できるようにできないか。   | 認知症サポーター養成講座、徘徊高齢者搜索模擬訓練及び行方不明高齢者等S O Sネットワークについては、現在は個別の取組みとして実施しておりますが、各事業の相乗効果も期待できるため、一体的な実施についても今後検討していきたいと考えています。 |
| 1 5 | 4 2 | 認知症予防のための施策を計画に入れるべきではないか。   | 6 8ページに「認知症予防対策」として記載しており、介護予防事業等を実施しています。  |
| 1 6 | 4 3 | 訪問型サービスCの実績が上がらないのは、条件が厳しすぎる。改善する必要があるのではないか。  | 目的や内容を踏まえ、対象者等を決めています。<br>いただいたご意見につきましては、今後事業を推進していく際に参考にさせていただきます。  |

| No. | ページ | 意見の概要  | 市の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| 17  | 43  | 通所型サービスBは住民主体の多様なサービスの参入も進めていく必要があるのではないか。   | 一定の要件を満たすサロン活動を実施している団体に補助金を交付するとともに、活動に関する情報発信を行うことで、住民主体のサービスを促進しています。  |
| 18  | 44  | 介護予防ポイント事業の対象をゴミ捨てや見守り等の軽度な支援など、在宅に範囲を広げるべきではないか。  | 介護予防ポイント事業については、ポイント付与の対象となる活動の拡大に向け検討していきたいと考えています。  |
| 19  | 44  | 総合事業の拡充における多様な主体とは何をイメージしているのか。<br>また、多様な主体にサービスへの参入をどのように呼びかけていくのか。                             | 多様な主体とはNPO法人、地域団体等を想定しています。<br>また、既にサロン活動等を実施している団体に対して、サービスへの参入を呼びかけています。  |
| 20  | 44  | 口腔機能の向上に係る活動の推進とはどのようなものか。現在社協で行っているカミカミ体操は参加希望者が多く、新規利用が難しいという地域の声がある。今後拡充する予定やその他の活動の見通しがあるのか。 | 口腔機能の向上については、歯科衛生士などにより、咀嚼や嚥下機能などの向上に取り組むとともに、口を動かすことで全身運動機能も含めた介護予防に取り組む教室として、カミカミ体操を実施しています。<br>また、今年度より77歳の人を対象にした歯科口腔機能健診を実施しており、当該健診結果を踏まえて、口腔機能の維持向上のための指導や教室を実施する予定です。 |

| No. | ページ | 意見の概要  | 市の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| 2 1 | 4 5 | <p>サロン活動の充実には運営費、担い手等様々な課題がある。平成29年度から地域サロン活動等補助事業を実施しているが、申請における事務量の多さ、煩雑さが感じられるため、改善を望む。</p> <p>また、一人暮らしや高齢者のみの世帯等、閉じこもりリスクのある人を中心にサロンの参加を呼びかけるといいうが、閉じこもりリスクのある人については、どのようなアプローチを考えているのか。</p> | <p>補助金を交付するに当たり、要件を満たしているかどうか確認するために必要な事務となりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>また、単身高齢者や高齢者のみの世帯を対象に実施している高齢者実態調査の際にチラシを配布することで、参加を呼びかけていきたいと考えています。</p> |
| 2 2 | 4 5 | <p>ボランティアの育成は誰がどのように行う予定で、どのくらいの人数を目標としているのか。</p>  | <p>ボランティアの育成については、新たに生活援助中心型のサービスに従事する者に必要な知識等に対応した研修課程が創設されますので、当該研修を活用したいと考えています。</p> <p>また、数値目標については、今後検討していきたいと考えています。</p>                |
| 2 3 | 4 6 | <p>地域包括支援センターに生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員を配置しても、目指すべき目標が不明確で事業推進が進まないのではないのか。</p>  | <p>市と地域包括支援センターが、生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員の果たすべき役割について共通認識を持つことで、事業を推進していきたいと考えています。</p>  |
| 2 4 | 4 6 | <p>地域ケア会議で、個別課題や地域課題が明確になっても、解決すべき方法について市としてもできることを提案していく姿勢が不足しているのではないのか。</p>   | <p>市も各地域のケア会議に参加し、提案を行っています。また、生活支援・介護予防体制整備推進協議会において、解決策について検討を進めています。</p>   |

| No. | ページ | 意見の概要  | 市の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| 25  | 46  | これまで地域包括支援センターで実施した地域ケア会議において地域の課題の発見・把握はできつつある、地域づくり・資源開発、政策形成を地域の力や社会資源に一任するのではなく、市が主体的に牽引していく段階ではないか。 | 地域づくり・資源開発は、行政のみで取り組むものではなく、医療、介護の専門家や地域団体など多職種の関係者の協働により進めていきたいと考えています。        |
| 26  | 47  | 地域包括支援センターは中学校区で1つ必要であるため、増設して欲しい。   | 高齢者人口の伸びなどを総合的に勘案し、また、既存の施設との地理的なバランスも考慮した上で、地域包括支援センターの増設を検討していきます。            |
| 27  | 48  | 地域包括支援センターの自己評価は、各センターの目指すものにより基準が異なる。地域の実情に応じた展開がどれくらいできているのかの市の評価がなければ、どう改善すればよいのか分からないのではないか。         | 地域包括支援センターの自己評価だけではなく、市も地域包括支援センターにおける事業の実施状況について評価を行うことで、業務改善につなげていきたいと考えています。 |
| 28  | 48  | 地域包括支援センター運営協議会を単独で開催し、今後の増設、事業の推進についても検討していくべきではないか。  | 地域包括支援センターの運営について、計画と一体的に推進する観点から、運営協議会についても計画の懇話会との併設としています。                   |

#### □第5章 施策の展開

|    |    |   |   |
|----|----|---|---|
| 29 | 49 | ケアマネジメントの推進について、サービス提供事業所との連携のために細やかな情報提供がなされる必要がある。メールで送信するのみでは、連携できるのか心配。意見交換できる場も必要。 | <p>日頃からサービス提供事業所に対する情報提供に努めているほか、刈谷ケアマネ連絡会総会に参加し、情報提供を行っております。</p> <p>また、懇話会には、刈谷ケアマネ連絡会会長も委員として参加しており、意見交換を行っています。</p> |
|----|----|---|---|

| No. | ページ | 意見の概要   | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 30  | 50  | 居宅サービスについて、どのように提供体制の確保と質の向上を図るのか。  | サービス提供事業所に関する情報を一覧として公表し、利用者への周知を図ることで、提供体制の確保に努めています。<br>また、県と合同で実地指導を行うことで、質の向上に努めています。 |
| 31  | 50  | 居宅サービスについて、利用者のニーズを市がどのように把握するのか。   | 要支援・要介護認定を受け、居宅で生活している人を対象にアンケート調査を実施することで、利用者のニーズを把握しています。                               |
| 32  | 53  | 自立支援を損なう福祉用具、住宅改修はどのようなものを想定しているのか。福祉用具、住宅改修の利用により、生活環境の改善や自立した生活ができ、介護サービスを利用せずに生活している方もみえる。 | その方の能力に応じ、できることは自分でやることが自立支援につながると考えており、本人の状態に合わないサービスは自立支援を損なうものと考えています。                 |
| 33  | 54  | 地域密着型サービスについて、どのように事業所の意向を確認し、参入を進めるのか。通知を送付するだけでは、事業所に意向が伝わるか疑問。                             | アンケート調査により事業所の意向を確認するとともに、公募を行うことにより参入促進を図りたいと考えています。                                     |
| 34  | 54  | 地域密着型サービスについて、どのように提供体制の確保と質の向上を図るのか。   | 拡充の必要があるサービスについて、公募を行うことで、提供体制の確保に努めています。<br>また、実地指導を行うことで、質の向上に努めています。                   |
| 35  | 57  | 介護老人福祉施設の入所に特別な理由のある方で、要介護2以下の入所を早急に検討されるべき。市としてのガイドライン作成を望む。                                 | 要介護1、2の方の介護老人福祉施設への特例入所につきましては、県が定める特別養護老人ホーム標準入所指針に基づいて対応しています。                          |
| 36  | 57  | 施設は充実してきましたが、そこで働く職員が不足している。対策を講じて欲しい。  | 地域区分を見直し、事業所の収入を増やすことで、事業所の職員の確保に寄与したいと考えています。  |

| No. | ページ | 意見の概要   | 市の考え方  |
|-----|-----|---|--|
| 37  | 59  | <p>介護保険制度、障害福祉制度といった縦割りによるサービス利用の支障が生じないよう、共生型サービスの利用の円滑化を図ると明示してあるが、具体的にどのような施策、方針を検討していくのか。</p> <p>従来、障害のある人が受けていたサービスの量・質を確保できるよう努めるとあるが、どのような形でサービスの利用の確保をしていくのか。</p> | <p>障害福祉サービスを利用していた高齢障害者に引き続きサービスを提供できるよう、障害福祉の指定を受けた事業所について、介護保険の訪問介護、通所介護、短期入所生活介護の指定が受けられるようになるものです。</p> <p>制度を周知し、指定の取得を促すことで、サービスの利用の確保に努めたいと考えています。</p> |
| 38  | 60  | <p>要介護認定に時間がかかりすぎていることが、適正な介護サービスの利用に支障をきたしている。認定期間の再考、タクシー券支給の要件などで改善できるのではないかな。</p>   | <p>介護認定審査会の合議体を増やすことで、要介護認定の迅速化に努めています。</p>  |
| 39  | 61  | <p>在宅福祉サービスについて、必要とされるサービスは増やし、必要度が少ないサービスは減らすなど強弱をつけ、必要なサービスが使えることが介護予防につながる。</p>  | <p>いただいたご意見を参考に、利用者のニーズや必要性等に応じて、サービスの見直しを行っていきたいと考えております。</p>   |
| 40  | 61  | <p>高齢者のみの世帯、認知症高齢者が増加し、親族も遠方にいるという世帯構成がある刈谷の特性から、緊急通報システムは高齢者夫婦のみ世帯も対象にするべき。</p> <p>また、高齢者と障害のある子ども世帯等もあるため、生活の実情に合わせた利用対象の拡大を検討願いたい。</p>                                 | <p>緊急通報システムは目的や内容を踏まえ、対象者等を決めています。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後事業を推進していく際に参考にさせていただきます。</p>   |
| 41  | 62  | <p>配食サービスは申請から開始まで時間がかかりすぎる。迅速な開始を希望する。</p>   | <p>申請後に、地域包括支援センターの職員が本人の健康や食に関する状況など、サービスを提供する上で必要な確認を行っていますので、ご理解をお願いします。</p>  |

| No. | ページ | 意見の概要   | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 4 2 | 6 2 | 調整食は1日3食とした場合、1週間35食のうちの5食の提供に過ぎない。食事制限を医師に確認させているが、これだけでは適切な食事制限は守れるものではない。また、医師の制限に合致しない場合は、提供ができないケースがある。条件の緩和が必要。       | 配食サービスは、見守りが必要な高齢者を対象とする福祉サービスであることから、目的や内容を踏まえ、対象や回数等について必要に応じ見直しを検討したいと考えています。  |
| 4 3 | 6 2 | 道路交通法の改正により運転免許の更新条件が厳しくなっている。認知機能低下による事故の防止のためにもタクシー券の要件を再考されてはどうか。  | タクシー券は電車・バス等を利用することが困難な方への福祉施策であり、元気な高齢者の方は、自分の足で歩いて移動することが介護予防の運動にもつながることから、この制度では外出が困難であると判断するに当たっての合理的かつ客観的な基準として要介護認定を要件としています。 |
| 4 4 | 6 3 | 徘徊高齢者探知端末機器は大きく、持ち歩く必要があるが、毎回携帯させることは家族の負担が大きい。   | 探知端末機器は徘徊者の現在地を特定するために非常に有効ですが、新たな手法についても検討していきたいと考えています。   |
| 4 5 | 6 3 | 徘徊高齢者の位置を探索することは、携帯電話の活用で家族でも可能な状況である。徘徊現場までの支援費用を検討する、タクシー会社に協力を得る等検討してはどうか。   | 徘徊高齢者の対策については、様々な方法を検討していきたいと考えています。  |
| 4 6 | 6 3 | 先日、犬山市の取り組みが報道されていました。高齢者の個人情報をQRコードのようなシールに登録して、持ち物であるカバンや洋服に貼り、そのシールをスマートフォンで読み取ることによって、家族に引き合わせることができるそうです。情報収集し、参考にしたい。 | 徘徊高齢者の対策については、他自治体の取り組み事例も参考にしながら、様々な方法を検討していきたいと考えています。  |

| No. | ページ | 意見の概要   | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 47  | 63  | 刈谷市行方不明高齢者SOSネットワーク事業登録者等に対して、GPS付き靴購入の補助、登録者が分かるようなシステムの導入を検討してはどうか。他市ではQRコード等のシール配布、キーホルダー作成等もある。 | 徘徊高齢者の対策については、様々な方法を検討していきたいと考えています。<br>補助、その他の方法につきましても、今後、事業を推進していくうえで参考にさせていただきます。                         |
| 48  | 63  | 高齢者の生活の困りごとはゴミを捨てられなくなることから始まり、地域との交流が減る。介護予防ポイント事業などを活用して解決してはどうか。                                 | 地域の様々な活動団体、住民等が連携し、高齢者を見守り、支えあえる地域づくりを進めていきたいと考えています。<br>介護予防ポイント事業については、ポイント付与の対象となる活動の拡大に向け検討していきたいと考えています。 |
| 49  | 64  | 介護支援ベッドを借りることで、介護サービスを利用せず、自立した生活を送ることができる方もみえる。対象者について、介護認定によるものとは別の方法での対象者を決めることはできないか。           | 介護支援ベッドは、原則、特殊寝台を借りることができない、要介護1以下で離床動作が困難な方に対する補助金であり、介護保険の補完的施策であることから、要介護認定を要件としています。                      |
| 50  | 65  | 市営住宅で階段の昇降が困難となり、閉じこもりから虚弱へととなっているケースが見受けられる。下の階への移動やエレベータの設置なども検討してほしい。                            | 市営住宅は公募により入居を決定していますが、1階は高齢者が優先して入居できるようにしています。エレベータの設置については、市営住宅の建て替え等の際に実施しています。                            |
| 51  | 66  | 養護老人ホームを虐待の予防のために、レスパイト的な活用をするなど、必要な時に柔軟に対応できるようにしてほしい。   | 養護老人ホームや生活支援ハウスのショートステイを活用することで、レスパイト的な利用が可能となっています。  |

| No. | ページ | 意見の概要  | 市の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 5 2 | 6 7 | 刈谷の道路は、高齢者が車イスや歩行器で移動する時に恐怖を感じるという声をよく聞く。実態調査を行ってみてはいかがか。安心して外出することが閉じこもり予防にも効果的である。 | 平成 2 7 年度に歩道の段差に関する調査を実施しており、当該調査結果を踏まえて、段差を解消する歩道整備事業を順次実施していく予定です。                                       |
| 5 3 | 6 7 | 公共施設連絡バスへの要望は、地域ケア会議でも毎回あげられる課題である。時間や停留所等の対策を講じられたい。                                | 運行路線については、市内 7 9 町のうち、約 9 2 % の 7 3 町の利用圏域にバス停を設置しており、現行の 6 路線で概ね市域をカバーできているため、現在のところ停留所等の増設については考えておりません。 |
| 5 4 | 6 8 | 特定検診未受診者のフォローを実態把握とリンクさせて行っているかどうか。  | 特定検診未受診者のフォローについては、ハガキや案内文を送付し、受診勧奨を行っています。  |
| 5 5 | 6 8 | 認知症予防のための介護予防事業とは、具体的にどのようなものを想定しているのか。  | 認知症の予防に効果的であるとされている全身運動、栄養改善、口腔ケアに関する各種の介護予防事業で、エンジョイ教室、男性のための栄養教室、カミカミ体操等になります。                           |
| 5 6 | 6 8 | 総合型地域スポーツクラブに高齢者が参加できるような配慮を依頼していくのか。既存のものは新規参加が難しい状況と聞いている。                         | 総合型地域スポーツクラブは、誰でも継続的にスポーツに親しめる環境づくりを目指す、地域に根ざした自主運営型のスポーツクラブであり、広く地域住民の参加を募集しています。                         |
| 5 7 | 6 9 | シルバー人材センターは、総合事業に参入できうる主体と考えられる。参入に向けて積極的に働きかけるべきではないか。                              | シルバー人材センターも主体の一つとして考えられます。シルバー人材センターも含め、多様な主体に参入を呼びかけたいと考えています。  |

| No. | ページ | 意見の概要   | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 58  | 69  | 老人いこいの場がない地域への場所（空家の活用）や人的支援を市が主体的に検討してみたり、特定地域をモデルとして行う等検討してみることも必要ではないか。        | 老人いこいの場は市内に35か所設置しており、市も必要な物品を貸与しています。<br><br>いただいたご意見につきましては、今後事業を推進していく際に参考にさせていただきます。                                      |
| 59  | 70  | 老人クラブは全国的に組織化された団体であり、その介護予防への役割は大きい。高齢化で運営が困難になっているため、加入の案内や運営への支援など強化していく必要がある。 | 老人クラブは、「健康づくり」、「仲間づくり」、「生きがいつくり」に取り組むうえで重要な場であると考えています。<br><br>そのため、今後も引き続き老人クラブの活動を支援することにより、活動内容の充実、加入者数の増加を促していきたいと考えています。 |
| 60  | 70  | 老人クラブは、高齢者福祉に直結していると思われますが、最近では加入しない人が多く、地域全体の盛り上げに欠けます。老人クラブを充実して欲しい。            | 老人クラブは、「健康づくり」、「仲間づくり」、「生きがいつくり」に取り組むうえで重要な場であると考えています。<br><br>そのため、今後も引き続き老人クラブの活動を支援することにより、活動内容の充実、加入者数の増加を促していきたいと考えています。 |
| 61  | 70  | あつまりんは、新規の利用が困難になっている。対応を検討するべき。  | あつまりんはレクリエーションを行う場であり、類似の事業である身近な地域における介護予防の取組としてのサロン活動を充実することで、対応したいと考えています。   |

| No. | ページ | 意見の概要  | 市の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| 6 2 | 7 1 | 見守りネットワークについて、虐待、徘徊高齢者など目的を絞ったネットワークをモデル的に立ち上げ、検証を行ってはどうか。   | <p>行政や社会福祉協議会、サービス事業者、地域住民等、多様な主体が連携して、見守りネットワークを形成したいと考えています。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後ネットワークを形成していく際に参考にさせていただきます。</p>  |
| 6 3 | 7 2 | コミュニティソーシャルワーカーとは、どこに所属する何を目的とするソーシャルワーカーを指すのか。  | 刈谷市社会福祉協議会の北部・中部・南部地区事務所に配置しており、地域住民からの困りごとの相談対応等を行っています。   |
| 6 4 | 7 3 | <p>成年後見市長申立て件数が増えていかないのはどうしてか。</p> <p>成年後見制度、日常生活自立支援事業の周知と利用の促進を図るというが、事業が必要と思われる方がすぐに受けられない現状がある。今後、認知症高齢者の増加が見込まれる中で、市、社協、包括、専門職等を交えて利用の必要性の検討等をする機会をつくるなどして、制度や事業が必要な方にスムーズに利用できるようにしてほしい。</p> | <p>平成29年7月12日現在で110人の方が成年後見制度を利用されています。成年後見制度は、原則として本人又はその親族が申立てを行うこととなりますが、身寄りがないなどの理由で、申立てをする人がいない認知症高齢者等については、市長が法定後見の開始の審判の申立てを行うこととなります。</p> <p>市長申立てを含め、制度に関する相談・手続き支援、普及・啓発を推進することで、利用の促進を図りたいと考えています。</p> |
| 6 5 | 7 2 | 虐待対応マニュアルの改訂を行い、48時間以内のコアメンバー会議の開催と市による虐待の認定を確実にを行うことを希望する。マニュアルに沿って解決への支援を行うことで、支援の力を上げることができる。   | <p>通報・相談等があった場合、まずは情報収集・事実確認を行い、虐待が疑われる案件については、速やかにコアメンバー会議を開催するようにしています。虐待対応マニュアルについては、必要に応じ、見直しを行いたいと考えています。</p>  |

| No. | ページ | 意見の概要                     | 市の考え方  |
|-----|-----|---------------------------|--|
| 66  | 73  | 年に1度は虐待に関する啓発を市民だよりで行うべき。 | 現在、民生委員・児童委員に対して虐待防止の啓発を行っておりますが、<br>今後はさらに広く市民に対し高齢者虐待防止に関する啓発を行いたいと考えています。 |